



IV. 健康食品管理士になって

健康食品管理士になって

与那覇 恵

(株式会社オキランド)

1. はじめに

私は、琉球大学農学部大学院修了後沖縄県内の健康食品メーカーで研究開発に従事し、約10年勤務していました。現在は株式会社オキランドに所属し、品質管理を担当しています。株式会社オキランドは、2018年に設立したまだ新しい会社で、台湾の会社が沖縄で台湾の食を広めたいということで立ち上げた会社で、私も立ち上げ当初から関わって現在に至っています。自社で製造した小籠包などの製品を、県内スーパー、ホテル、居酒屋などへ卸販売を行っていますので、自社で品質管理と製品管理を行っており、その業務に従事しています。

また、県内小規模事業者の商品開発の際の品質管理のサポートも行い、その際に健康食品管理士の知識が役立っていると思っております。

2. 健康食品管理士との出会い

健康食品管理士という資格とは、実は大学卒業後に勤めていた株式会社琉球バイオリソース開発時代へ遡ります。確か、健康食品管理士の資格が出来始めたころに、取引先の会社がこの資格の取得のサポートを行っているとお話されており、資格取得を進められ、その時に初めて健康食品管理士の資格を知りました。ですが、その頃は業務が忙しく、資格試験のための準備ができないことを言い訳に資格取得には至りませんでした。その後、会社を退職し新しい会社へ就職した際に、何か資格を取りたいなと思い、健康食品管理士の資格を思い出しました。幸いにも大学卒業の単位のみで受験資格があることが分かり、資格試験合格を目指して、久しぶりに机に向かいテキストと向き合ったのを思い出します。何とか無事1回で試

験に合格し健康食品管理士の資格を取得しました。私が資格試験を受けようとした時期は、琉球大学医学部保健学科や農学部の先生方が中心になり、沖縄支部の動きが活発になっていたころだと記憶しています。資格取得後の講演会に足を運ぶと、大学時代の研究室でお世話になった先生方が事務局として会場におられ、久しぶりにお会いできて懐かしさを覚えました。

健康食品管理士の資格は、受験して資格を取得して終わりではなく、年1回の更新試験、支部ごとに開催される講演会への参加、また学会などへの参加により資格更新のための単位が付与されます。お金を払えば取得できるような資格もありますが、継続的に知識が得られることはとても魅力的だと感じており、自分自身の知識の向上にも役立っていると感じています。こうした資格取得後の研修カリキュラム制度のおかげで、2013年に健康食品管理士の資格を取得後、研修と更新試験を重ね、上級健康食品管理士へ更新しました。

有資格者には、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士などの方も多くおられ、健康食品、食の安全性などの知識を実際の現場で活用されていると思います。一方で、私は食品の製造や品質管理と商品開発に携わってはいますが、なかなか健康食品管理士としての知識を現場で生かすことは出来ていないのが現状です。ですが、講演会やこれまでに携わってきた仕事の中で得た情報を少しでも生かしていくところは出来ているのではと考えます。以前に沖縄支部で開催された講演会で、長村先生が食品添加物のお話をされており、一般消費者の方から「添加物はおぶない、体に良くない」といった声をよく聞くと話されていました。食品添加物は安全性もしっかり確認され、食品へ利用され

ており、有効的に正しく活用することで商品自体の賞味期限も伸び、食品ロスにもつながると考えています。ですが取引先の中には、「食品添加物」と聞くとアレルギーを起こし、「食品添加物が入った商品なんか取り扱えない」といった声を聴くこともあります。その際には、長村先生の講演会で得た情報を正しくお伝えし、添加物は悪ではないことを少しでも理解して抱けるように努めています。

3. おわりに

現在のコロナ禍の中で、更新のための講演会が開催されることが出来なくなり、事務局や各支部の先生方もご苦労されていることも多いかと思えます。講演会の開催から、オンラインでの開催に移行し、また期間限定ではありますがその講演内容も視聴できるようになっています。これまでは、沖縄支部で開催されている講演会のみを受講するだけでしたが、コロナ禍のおかげ？と言ったら語弊があるかも知れませんが、他支部の講演会もオンラインで視聴することができ、得られる情報も広がって行くと感じています。是非ともこのオンラインでの講演会の開催は、コロナ禍が終息して講演会が開催できるようになっても続けて行って欲しいと切に願います。